

令和2年矢巾町議会定例会3月会議

一般質問議員と質問事項一覧表

受付番号	質問議員	質問事項	答弁者
1	10番 昆 秀一	1. 貧困問題を解決するには	町長・教育長
		2. 笑いとユーモアの効用について	町 長
		3. ボランティア活動の支援充実を	町長・教育長
		4. コミュニティ・スクールについて	教 育 長
2	9番 赤丸 秀雄	1. 町長の施政方針について	町 長
		2. 教育長の教育行政方針について	教 育 長
		3. 町運行の公共交通の実態について	町 長
3	3番 小笠原 佳子	1. 矢巾町における政策形成について	町 長
		2. 介護について	町 長
4	4番 谷 上 知子	1. コミュニティ・スクールについて	教 育 長
		2. 調整池の管理について	町 長
		3. 高齢者や障がいのある方への交通支援について	町 長
5	15番 山崎 道夫	1. 移住・定住促進、空き家対策の取り組みについて	町 長
		2. 町道矢次線の工事再開に向けた取り組みについて	町 長
6	8番 水本 淳一	1. 文化スポーツの推進とコミュニティ・スクールについて	町長・教育長
		2. 地域防災について	町 長
		3. 2025年問題と地域包括ケアシステムの構築について	町 長
7	14番 小川 文子	1. スーパーシティ構想について	町 長
		2. 新型コロナウイルス対策について	町長・教育長
8	11番 藤原 梅昭	1. 「快適性と安全性を高めるまちづくり」について	町長・教育長
		2. 学校教育の充実について	町長・教育長
		3. 子ども・子育て支援の充実について	町 長
9	13番 川村 よし子	1. 国民健康保険制度について	町 長
		2. 教員の変形労働時間制について	教 育 長
		3. 安心して教育を受けられる取り組みについて	教 育 長
10	2番 吉田 喜博	1. 河川整備について	町 長
		2. 西部地区の開発について	町 長
		3. 徳丹城の観光推進について	町 長
		4. 町人口3万人を実現するための土地利用について	町 長
		5. 医大周辺の交通対策について	町 長
計	10名 30件	【一般質問実施日】 令和2年3月4日(水)午前10時 ※受付No.1～4 令和2年3月5日(木)午前10時 ※受付No.5～8 令和2年3月6日(金)午前10時 ※受付No.9～10	町 長 25件 教 育 長 11件

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 1	令和2年2月21日	午前・ 午後 9時00分
議席番号10番	昆 秀 一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 貧困問題を解決するには (答弁者) 町長、教育長</p> <p>全国の子どもの貧困については、7人に1人とも、6人に1人ともいわれている。町では、さまざまな貧困対策を講じていることと思うが、現在の子どもをはじめとした貧困問題をどのように捉え、今後どのように支援を行っていかようとしているのか、以下伺う。</p> <p>① 町として、貧困の定義をどう持って、その方たちに対する支援の方針や目標をどのように設定しているのか。 ② 町内の貧困に関する実態をどう把握しているのか。 ③ 貧困の中でも特に子どもの貧困が社会問題となっているが、その解決策をどう考えるのか。 ④ 貧困などで苦しんでいる方々への支援は総合的に取り組む必要があるが、町の支援体制はどのようなものか。 ⑤ 貧困の連鎖を断ち切る施策として、貧困家庭などに対する教育の充実が必要である。今後給付型の奨学金などの支援をどのように行うのか。</p>
質問2	<p>(質問事項) 笑いとユーモアの効用について (答弁者) 町長</p> <p>人はなぜ笑うのか。赤ちゃんは一人で生きていくことがで</p>

きない。そのために可愛がってもらい、育ててもらうための戦略として本能的に笑っているといわれている。また、「病は気から」と精神的なものが体調に表れることもある。「笑うと気持ち晴れる」「なんだかスッキリする」というのは、近年医学的にも認められている。そこで、町民の幸福の実現には、この笑いとユーモアが不可欠であると思われるところから、以下伺う。

- ① 笑いと健康についての相関関係を、町としてどう考えて町民の福祉増進に取り組んでいるのか。
- ② ユーモアはコミュニケーションの潤滑油になるが、その効用を意識して各施策に生かしてはどうか。
- ③ 笑いはナチュラルキラー細胞の活性効果で健康の増進が促されることから、そういう笑うことのできるイベントの開催を町としてさらに推奨してはどうか。
- ④ 笑いは副作用のない最良の薬であるといわれている。その効果は作り笑いでもいいようだが、その作り笑いを促す取り組みをしてはどうか。
- ⑤ 3月19日に、脳トレ漫談師の方を招いて講演が行われるが、ほかにも笑いヨガやケアリングクラウンの活動の推進をしてはどうか。

質問3

(質問事項) ボランティア活動の支援充実を
(答弁者) 町長、教育長

町内では、様々なボランティアをされている個人・団体の方がいる。子育て・精神保健・介護など、町のボランティアセンターへの登録の有無に関わらず活動しているということだが、そういう方々がどのような活動を行っているのかは広くは知られていないように思う。そこで、本町のボランティア活動を町民の皆様知ってもらい、またその活動の充実のために、以下伺う。

- ① 現在の各種ボランティアの活動状況は。

	<p>② 町のボランティア個人・団体に対する支援状況は。</p> <p>③ ボランティアをしたい方とボランティアの人手を求めている団体とのマッチングをどう行っているのか。</p> <p>④ ボランティア育成を進めていくことが大切であると考えるが、児童生徒や若い方々へのボランティア育成の取り組みをどう行っているのか。</p> <p>⑤ ボランティアをしたことによってポイントを付与するというボランティアポイント制度の導入についての考えは。</p>
<p>質問 4</p>	<p>(質問事項) コミュニティ・スクールについて (答 弁 者) 教育長</p> <p>本町では、来年度 4 月から町内全小中学校を対象としたコミュニティ・スクールを設置するということである。子どもたちの生きる力を育むためには、学校だけではなく保護者・地域住民が参画する必要がある。そういう方々が一体となるための仕組みとしてのコミュニティ・スクールは、地域に開かれた学校としても非常に有効である。その取り組みについて、以下伺う。</p> <p>① 保護者・地域住民の協力・周知をどう進めているのか。</p> <p>② 学校・教職員の負担感についてはどう捉えているのか。</p> <p>③ コーディネーターの設置をどのようにしていくのか。</p> <p>④ 人事や予算措置はどう行っていくのか。</p> <p>⑤ 進捗の評価・検証方法は。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>2</u>	令和2年2月21日	午前・ 午後 9 時00分
議席番号 <u>9</u> 番	赤丸秀雄	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 町長の施政方針について (答弁者) 町長</p> <p>町長の施政方針演述を傾聴し、以下の内容について伺う。</p> <p>① 通学路の安全確保について、町民懇談会、町民と議会との懇談会、子ども会集会など、多くの場で防犯灯設置の要望が出ている。町長は事故が起きてからでは遅いと言いつつ、早期対応が見えてこない。どのような対策を考えているか伺う。</p> <p>② 「エン(縁)ジョイやはばネットワーク」の展開は、大変良い施策であった。新年度さらに充実させると話されているが、具体的に何をどのように考えているか伺う。また、今年度の導入行政区数や活動、経費状況などを伺う。</p> <p>③ 地域おこし協力隊の2名が新年度で卒業となることである。町のイベント開催などにおいて、積極的な取り組み姿勢と若者の視点・発想で、町民に元気を与えて(発信して)いる。地域おこし協力隊の増員を是非望むものであるが、今後の方針や募集状況について伺う。</p>
質問2	<p>(質問事項) 教育長の教育行政方針について (答弁者) 教育長</p> <p>教育長の教育行政方針を傾聴し、以下の内容を伺う。</p>

	<p>① 学校給食共同調理場と煙山保育園について、民営化を含めた運営形態のあり方を検討するとあるが、そのように至った背景、具体的理由を伺う。</p> <p>② 子育て支援の中で、保育料や副食費の保護者負担軽減による経済的な支援とあるが、具体的にどのような対応を意図しているのか伺う。</p> <p>また、盛岡市では、副食費及び第2子以降の保育料の無償化について新たな支援策を行うと新聞報道されたが、町ではそのことをどのように捉えているのか伺う。</p> <p>③ 給付型奨学金事業（制度）の導入は、大いに期待する施策である。定住化の促進により、地域活性化や税の増収など町のメリットが大である。是非早期実現を要望したいが、構想や背景の考えについて伺う。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) 町運行の公共交通の実態について (答弁者) 町長</p> <p>公共交通事業としてデマンド型タクシーやコミュニティバスの運行を行っているが、その状況について以下伺う。</p> <p>① デマンド型タクシー及びコミュニティバスの利用状況はどうか。また、当初計画に対する想定利用数、支出経費の状況はどうか伺う。</p> <p>② 私が9月会議で改善要望した項目や町民へのヒアリングによる要望項目を、12月までに分科会で検討・整理し、4月からの運行に反映（改善）させると答弁していたが、何をどのように改善するのか公表を願う。</p> <p>③ 交通弱者対策として、社会福祉協議会や町内介護施設の送迎バスの協力を依頼すると話されていたが、利用できる内容の具現化は整ったのか伺う。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>3</u>	令和2年2月21日	午前・ 午後 9 時00分
議席番号 <u>3</u> 番	小笠原 佳 子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 矢巾町における政策形成について (答弁者) 町 長</p> <p>先般、新聞報道において、「政策にはデータと検証が必要である」と、政策立案に対する考え方が掲載されておりました。</p> <p>現在、政府では、エピソード（経験）ではなく、エビデンス（証拠）を基にデータ（裏付け）と照らし合わせて、政策立案をするEBPM（エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）が実施されています。</p> <p>限られた財源を有効に活用し、効果を出すためにはとても重要な考え方だと思います。本町の取り組み状況について、以下3点について質問します。</p> <p>① 町では、EBPMに取り組まれているのでしょうか。仮に取り組みがなされていない場合は、どのようにして政策の根拠を導き出し、様々な因果関係を分析し、最終的に政策として立案しているのか伺います。</p> <p>② EBPMを行うにあたって、ロジックモデル（事業の設計図）を活用している例もあるようですが、町では政策目的を達成するまでの具体的な計画が構築されているのか伺います。</p> <p>③ 総合計画の中では、PDCAサイクルを実施しながら評価を行う事を、同僚議員の質問に対して答弁しています。EBPMに取り組むことで客観的な評価が可能になると</p>

	<p>思われますが、今後、EBPMに取り組む予定があるのか伺います。</p>
<p>質問2</p>	<p>(質問事項) 介護について (答弁者) 町長</p> <p>高齢者の総合的な相談支援について、地域包括支援センターが対応しておりますが、介護の面から以下3点について伺います。</p> <p>① 町内における施設入所者と在宅介護者について、介護度別の人数を伺います。また、在宅介護者について、施設入所を希望している待機者の状況とその対策を伺います。</p> <p>② 健康診断の受診状況や体力的・精神的な疲れなど、在宅介護者の健康状態を把握する体制はあるのか伺います。</p> <p>③ 国の2020年度予算案では、認知症の方やその家族の困り事を手伝う仕組み「チームオレンジ」の整備などを更に進めるとしてはいますが、町ではどのように取り組んでいくのか伺います。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>4</u>	令和2年2月21日	午前 ・午後 3 時15分
議席番号 <u>4</u> 番	谷上知子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) コミュニティ・スクールについて (答弁者) 教育長</p> <p>令和2年度から行われるコミュニティ・スクールについて伺います。</p> <p>① 学校運営協議会や熟議の場を通して、目標やビジョンを共有していくとしております。実りのあるより深い熟議とするため、どのように取り組んでいくのか伺います。</p> <p>② 教員の任用について、学校運営協議会は教育委員会に意見を述べるができることとされています。学校運営協議会では、どこまでの範囲において意見を述べるができるのか伺います。</p> <p>③ 父母や地域への周知・啓もうの進め方について伺います。</p> <p>④ 特に準備段階において、活動を円滑に進めるため、会議のファシリテーターや企画運営するコーディネーター等が必需と考えますが、この点について伺います。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 調整池の管理について (答弁者) 町 長</p> <p>暖かくなると調整池の周囲の草が成長し、また水量が増し危険な箇所が目につきます。宅地が増加することが予想されることから、現在ある調整池と、宅地開発に伴い今後増えると思われる調整池の管理について防災の観点から伺います。</p> <p>① 調整池は誰が管理しているか伺います。 ② 調整池の塀の高さに規定はあるのか伺います。 ③ 草が伸び放題で水際が隠れるほどです。草刈りはどのように管理・指導しているのか伺います。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 高齢者や障がいのある方への交通支援について (答弁者) 町 長</p> <p>公共交通手段に頼らなければ、通院、買い物、行政への手続きなどができない高齢者や障がいのある方たちへの支援について伺います。</p> <p>① バス会社の割引パス券を発行してはどうか。 ② 路線バスが運行していない地区に対し、割引タクシー券を発行してはどうか。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 5	令和2年2月25日	午前・ 午後 9 時45分
議席番号15番	山崎道夫	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 移住・定住促進、空き家対策の取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>東京一極集中の中にあつて、転入が転出を上回る、いわゆる「社会増」に成功している地域は少なくないといわれています。2010年～2015年の5年間で全国の市区町村の25%、4分の1の自治体が社会増を達成しているといったデータがあります。人口減少の時代に入った今日、移住・定住者の獲得は持続可能な自治体を維持・継続する上で大変重要な政策の1つであります。また、移住者の獲得は、自治体の政策と取り組み方によって差が開くことはいうまでもありません。</p> <p>例えば、県内では遠野市と陸前高田市が社会増を実現していますが、遠野市は5年間で実に546人を受け入れております。その取り組みは移住者を応援する組織をつくり、情報をワンストップで提供するなどの取り組みで、毎年確実に移住者を呼び込んでいます。また、全国から起業する人達や就農する人達が集まって来ていることが特徴的だといわれています。</p> <p>また、陸前高田市は486人を受け入れていますが、2017年にNPO法人高田暮舎（たかたくらししゃ）を発足し、移住を後押しする体制を整備し、情熱を持って移住を呼びかけ、着実に実績を上げているとのことであります。</p> <p>このように実績を挙げている事例が県内にもありますが、</p>

全国の自治体で共通しているのは、移住者を受け入れてからの支援策に大変力を入れているということです。

私は昨年12月の会議において、「移住支援の取り組み」について一般質問で取り上げましたが、町長は「東京を始めとする首都圏や大都市において、町のセールスポイントの高い部分を積極的に売り込み、矢巾町を認知してもらう機会を増やす取り組みを実施していく。さらには、矢巾町独自の支援策である移住支援補助金、結婚新生活支援補助金、個人住宅取得資金利子補給金等の支援策について、大いにPRしていきたい」との答弁でした。

さらには、移住・定住促進に取り組むに当たり、矢巾型の各種支援策について、インパクトのある内容にするため、しっかりと検討していきたいとの思いも述べられました。そのような考えを基にして、情報発信に力を入れ、移住・定住促進にしっかり取り組むという心意気も聞かせてもらいました。

その後、12月の会議を終えて1カ月余り経過した1月21日、産業建設常任委員会で石川県の志賀町に管外視察研修に行ってきた。志賀町は金沢市から列車で約1時間程度のところに位置する人口約2万人余りの町ですが、人口減少対策の一環として、移住・定住者支援と空き家対策に力を入れている町です。

特にも移住・定住支援策は私たちが今まで目にしたことがないような内容であり、その支援策に目を見張りました。充実した子育て支援と、移住・定住支援策により、平成28年から3年間で214人が移り住んでいましたが、多くの方が、移住定住すまいづくり奨励金（最大170万円）や、新居に単身で入居した者、最高額290万円などの支援制度を活用していました。併せて空き家バンクに41件が登録され、その内の26件の契約が成立し、リフォーム再生等助成金（最大100万円）の活用でリフォームし、すでに定住しているとのことでした。このように充実した支援策と民間会社との間で「移住・定住促進、空き家対策」の協定を締結し、力を合わせた取り組みが進められており、移り住んでからの子育てを中心とした支援策も大変充実しており、その企画力と実行性のある取

	<p>り組みにとっても感心させられました。</p> <p>このように志賀町の取り組みは大変参考になる点が多く、移住・定住施策にかける熱い思いと本気度が痛いほど伝わってくる研修でした。以上、視察研修を踏まえ、2点について町長の見解を伺います。</p> <p>① 第7次矢巾町総合計画後期基本計画が4月からスタートしますが、移住・定住促進、空き家対策等の取り組みについて、どのような目標と計画を立て、実行性のある取り組みを行っていくのか明らかにされたい。</p> <p>② 矢巾型各種支援策について、さまざまな観点から検討するとの思いを述べられた経緯がありますが、子育て支援や、移住・定住者への支援策、空き家対策などについて、先進的に取り組んでいる事例等を参考に、早期に検討すべきと思いますが、今後の取り組みについて見解を伺います。</p>
<p>質問2</p>	<p>(質問事項) 町道矢次線の工事再開に向けた取り組みについて</p> <p>(答弁者) 町長</p> <p>町道矢次線の拡幅工事は、今から13年前の平成19年に完成する予定でしたが、600メートルが未完成のままになっています。途中で道幅が急に狭くなる危険な状況のまま、工事再開の見通しが全く示されない状況で10年以上も捨て置かれているといっても過言ではありません</p> <p>町道矢次線は矢巾北中学校前を通り、盛岡中央卸市場へ真っ直ぐ通じる重要な路線であり、役場付近から盛岡方面に向かう場合も大変便利な路線であります。</p> <p>本町は、岩手医大周辺はもとより、東西南北どこの路線も朝夕を中心に混雑が激しく、渋滞しているのが実態です。生活道路の整備と道路網の整備が町政の大きな課題であります。こうした状況にありながら、1名の地権者から同意が得られないとの理由で10年以上も工事を放棄したかのように</p>

な行政の姿勢と対応に対し、多くの町民から、疑問と不満、批判の声が出ています。

特に地元からは、用地の提供に協力した地権者を中心に、行政に対すると不信の声が寄せられています。私は平成22年6月と平成28年6月に一般質問でこの問題を取り上げ、工事の早期再開を求めてきましたが、その願いは叶わないまま今日に至っています。

特に平成28年6月会議では、地権者へ早期同意を促すことも見据え、北側から少しずつでもやれる範囲の中で工事を進める予定であるとの答弁でした。しかし、見える範囲では全く手付かずのままのように感じますが、どの程度進んでいるのか経過について説明を求めます。

また、工事再開に向けた見通しと、同意が得られない場合の地権者対応について、今までとは違う厳しい姿勢で臨むことなども含め、見解を明かにされたい。

さらには、道路用地として町が買い取った土地を一部の住民が長期間、個人的に使用しており、町が便宜供与しているのではとの疑念が地域住民から出されており、したがってその経過と真意を明かにされたい。

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>6</u>	令和2年2月25日	午前・ 午後 10時00分
議席番号 <u>8</u> 番	水本 淳一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 文化スポーツの推進とコミュニティ・スクールについて (答弁者) 町長、教育長</p> <p>令和2年度から町では、教育委員会の社会教育課に代わり、「文化スポーツ課」が町長部局に設置され、また、学務課は学校教育課となり、「コミュニティ・スクール」を行うことから、以下について伺います。</p> <p>① 文化スポーツ課では町長部局の政策と連携しながら、生涯学習、スポーツ、健康づくりを推進していくとしているが、その具体的な施策を伺う。</p> <p>② コミュニティ・スクールの具体的な施策を伺う。</p> <p>③ 先日のコミュニティ・スクールに関する説明では、各学校の特色を残していくということだが、各学校の特色にはどのようなものがあるか。</p> <p>④ 現在、各小中学校の児童生徒数に大きな差が生じてきているが、このことにより部活動などに支障が出ていないか。そのような場合、学校の枠を取り払った部活動を行うてはどうか。</p> <p>⑤ 不来方高校音楽部による音楽交流が懸け橋となり、政府はオーストリアの「復興ありがとうホストタウン」に矢巾町を登録した。これを機に矢巾中学校と矢巾北中学校両校合同の合唱部を結成するなどして、音楽によるウィーンとの交流を継続してはどうか。</p>

質問 2

(質問事項) 地域防災について

(答弁者) 町 長

先日、盛岡地区広域消防組合議会で大阪府高槻市と広島県広島市において大阪府北部地震や西日本豪雨災害について視察した。高槻市は大阪府北部地震の震源で、地震直後1時間の間に126件もの救急電話が入り、どの通報を優先して救助すべきか、トリアージが大変だったという事であった。また、広島市は、台風19号による西日本豪雨災害があった場所であり、日頃からの自助、共助の大切さを痛感してきた。

矢巾町においては、平成25年の大雨災害が思い出される。また、近くには北上低地西縁断層帯、南昌山断層がある。

「自分たちの地域は自ら守る」という趣旨のもと、太田自治会は今年度の自主防災組織活性化事業のモデル地区に指定されている。岩手大学の担当教授等の皆様のご指導の下、「太田地区防災マップの充実」のためのワークショップが行われ、自分の地域ながら気づかされることが多くあった。

このことから、他の自主防災組織でもワークショップなどによりその地域の防災マップの見直しと個々の周知徹底を早急に行うべきであると考え、以下について伺う。

- ① 自主防災組織の活動状況について伺う。
- ② 自主防災組織活性化事業のモデル地区指定は、どのように決定されるのか伺う。
- ③ モデル地区の指定について今後の方針を伺う。
- ④ 防災マップや避難所等の見直しについて伺う。
- ⑤ 太田川と宮手川の今後の改修計画について伺う。

質問 3

(質問事項) 2025年問題と地域包括ケアシステムの構築について

(答弁者) 町 長

日本は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進んでおり、2025年には団塊の世代全員が75歳を超え、4人に1人が75歳以上になり、超高齢化社会の到来で起こる「2025年問題」は非常に深刻である。政府は、2025年に向けて「地域包括ケアシステム」の導入を目指しているが、町の地域包括ケアシステム構築の取り組みについて伺う。

① 社会保障費抑制とそのための健康寿命延伸に向け、国は生活習慣病予防と介護予防を一体的に実施することを明らかにしているが、今般の機構改革も踏まえ、町としてどのように地域包括ケアシステムを構築していく考えか伺う。

また、専門職の配置とアプローチを具体的にどのように考えているのか。

さらには、令和2年度は第8期介護保険事業計画(2021～2023)の策定年度であるが、2025年問題との整合性について、どのように担保していく考えか伺う。

② 一人暮らしや高齢者のみの世帯はどのような状況になっており、これに対応する見守りの仕組みは充足しているのか伺う。

③ 地域における互助・共助の仕組みが必要であることは理解しているが、地域コミュニティにおける担い手確保の課題をどのように捉えているのか。また、どのように調整を図りながら課題を解決していく考えか伺う。

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>7</u>	令和2年2月25日	午前・ 午後 11時00分
議席番号 <u>14番</u>	小川文子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) スーパーシティ構想について (答弁者) 町長</p> <p>内閣府では、第4次産業革命における最先端技術と大胆な規制緩和により、理想の未来社会を先行実現するスーパーシティ構想を推進するとしている。この構想の検討を進めている自治体等から検討中のアイデアを募集し、政策決定に生かすとともに地域におけるスーパーシティ構想の検討の加速を促すとしている。本町がその公募に応じたことから、以下伺う。</p> <p>① 検討を開始した経緯について。 ② 昨年11月に町が開催したワークショップの主な内容について。 ③ スーパーシティ構想を実現するため、国家戦略特区の指定を目指し準備を進める計画があるのか伺う。</p>
質問2	<p>(質問事項) 新型コロナウイルス対策について (答弁者) 町長、教育長</p> <p>社会不安ともなっている新型コロナウイルスであるが、テレビ等でも報道されるように、持病をお持ちの方や高齢者は特に注意が必要である。保健所への電話相談と合わせ、本町でも電話相談の窓口を設けてはどうか。また、保育園や小中学校における対応状況を伺う。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 8	令和2年2月25日	午前・ 午後 11時00分
議席番号11番	藤原梅昭	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 「快適性と安全性を高めるまちづくり」について (答弁者) 町長、教育長</p> <ol style="list-style-type: none">① 1・17阪神淡路大震災から25年、3・11東日本大震災から9年、8・9ゲリラ豪雨から7年になろうとしているが、特に東日本大震災被災者及び被災地の支援状況を伺う。② 52名の防災士が誕生し防災意識も高まっており、災害時における自分自身の行動をあらかじめ示しておく「マイ・タイムライン」も重要と考えるが、このことを含め町民の防災意識の高揚に向け、啓蒙・周知の状況を伺う。③ 日常もそうだが、特に災害時における外国人支援として「災害多言語支援センター」があるが連携状況を伺う。④ 住宅が半壊・一部損壊しても支援金が支払われない現行の「被災者生活再建支援法」への考えを伺う。⑤ 自然災害発生時に住民の避難費用を補償する「住民避難保険」の検討はしているのか伺う。⑥ 自然災害は地球温暖化が大きな要因と言われているが、CO2削減への取組状況と今後の取組を伺う。⑦ 農地や森林、海洋で二酸化炭素(CO2)を吸収する農林水産業だが、伐期が来始めている森林対応について伺う。⑧ 持続可能な開発目標(SDGs)に対し、議会定例会12月会議において採択された「気候非常事態宣言」への考えを伺う。⑨ 環境に配慮したまちづくり、ゴミ“ゼロ”への大きな挑

	<p>戦である、この2日からスタートした「リサイクルモア」の運営状況を伺う。</p> <p>⑩ 小中学校における地球温暖化や環境問題への取組状況を伺う。</p>
質問2	<p>(質問事項) 学校教育の充実について (答弁者) 町長、教育長</p> <p>① 教員の残業時間の現状と、来年度からの1カ月の残業時間上限45時間以内への取り組み状況について伺う。</p> <p>② 来年度からの小学校5・6年生の英語・プログラミング教育への対応についての考えを伺う。</p> <p>③ 教育委員会の障がい者雇用の現状と今後の考えを伺う。</p> <p>④ 熱中症対策として、夏休みと冬休み期間の検討を行ったのか伺う。</p> <p>⑤ 本町小中学生の全国体カテストの結果及び対応状況を伺う。</p> <p>⑥ 不登校・ひきこもり児童の現状と取り組み状況について伺う。</p> <p>⑦ 家庭・学校での児童虐待の現状と取り組み・対応状況を伺う。</p> <p>⑧ 「発達障害児」の現状と取り組み状況を伺う。</p>
質問3	<p>(質問事項) 子ども・子育て支援の充実について (答弁者) 町長</p> <p>① 幼児教育・保育の無償化について対応状況を伺う。</p> <p>② ひとり親相談体制の現状と取組状況を伺う。</p> <p>③ 妊娠から出産、乳幼児、幼保育園、小中学校までの子育て支援全般について、多子世帯と多胎児世帯それぞれへの支援の状況を伺う。</p> <p>④ 早産や高齢出産などリスクのある妊婦への支援状況を伺う。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 9	令和2年2月25日	午前・ 午後 11時40分
議席番号13番	川村よし子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 国民健康保険制度について (答弁者) 町長</p> <p>安倍政権は、「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げ「社会保障全般にわたる改革」に向けた議論を進めている。その内容は、年金大幅削減、医療・介護の負担増と給付削減、病床淘汰の推進、保育予算の削減など、「全世代」に制度改悪の痛みを押し付けようとしている。歴代政権は、法定外の繰り入れを好ましくないとしつつ、これに制度上のペナルティを科すことはできなかった。全国知事会・全国市町村会は、国保制度を真に持続可能にするには、公費負担増による国保税の見直しが必要としている。このことから以下伺う。</p> <p>① 短期保険証の発行は、人権をないがしろにした制裁措置と考えることから、発行を中止するべきと考えるがどうか。</p> <p>② 国保税は、一般の協会けんぽ保険料と比較をしても高い保険税である。加入している保険制度によって保険税・料に差があることについて、町ではどのように考えているのか。</p> <p>③ 18歳未満の均等割を全額免除するには、年間どの程度の費用が見込まれるのか。</p> <p>④ 全国知事会・全国市町村会でも要望している「国保財政への1兆円投入」について、早期に実現できるよう働きかけることが大切である。同時にペナルティが導入されても</p>

	<p>自治体の判断で法定外繰り入れを継続している自治体がある。本町でも法定外繰り入れを実施するべきと考えるがどうか。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 教員の変形労働時間制について (答 弁 者) 教育長</p> <p>教職員の異常な長時間労働について、労働条件として緊急に改善が求められていることから、以下伺う。</p> <p>① 教員の勤務実態調査について、本町ではどのように把握し、どう改善しているのか。</p> <p>② 「1年単位の変形労働時間制」を導入可能にする法案が強行に成立しましたが、制度導入は1日8時間労働の原則を壊し健康被害をもたらすことから反対である。現場の教員の意見を聞く機会はあるか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 安心して教育を受けられる取り組みについて (答 弁 者) 教育長</p> <p>労働者の非正規職員の拡大により、教育現場では子どもの貧富の格差が目に見える状況になってきていることから、以下伺う。</p> <p>① 就学援助制度の申請手続きについて、学校を經由しないで、教育委員会で手続きができないか。</p> <p>② 児童生徒遠距離通学費補助金の対象は、小学生4キロ以上、中学生では7キロ以上である。中学生の利用はなく、小学生と同様に4キロ以上と要綱の見直しをする必要があるのではないか。</p> <p>③ スクールバス検討について、具体的な計画はどのように考えているのか。</p>

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>10</u>	令和2年2月25日	午前・ 午後 11時50分
議席番号 <u>2</u> 番	吉田喜博	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 河川整備について (答弁者) 町長</p> <p>昨年9月に岩手医科大学附属病院が開院したことから、改修された岩崎川の今後の管理や周辺的安全対策、さらには景観整備が必要と考えられる。このことから以下3点について伺う。</p> <p>① 岩手医科大学附属病院西側の岩崎川に堆積している中州等の管理、整備の考えを伺う。 ② 西前橋周辺の防犯灯の整備計画を伺う。 ③ 岩崎川と芋沢川の合流地点から西前橋までの堤防に、桜の木などの植栽など、整備の計画はないか伺う。</p>
質問2	<p>(質問事項) 西部地区の開発について (答弁者) 町長</p> <p>昨年から、国道4号沿線の企業誘致や駅周辺の住宅地整備計画は示されている。しかし、西部地区の開発に関する考えは、なかなか見えてこない。以前、企業誘致の話しがあった室岡地区の町有地について、現在の状況と今後の活用の方向性を伺う。</p>

<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 徳丹城の観光推進について (答弁者) 町 長</p> <p>国指定史跡徳丹城跡は国の指定を受けてから50周年を迎えた。これを契機として、徳丹城の「政庁」や「東・西・南・北門」の城柵の一部を復元し、歴史に親しむ機会を増やし観光化を図る考えはないか伺う。</p>
<p>質問 4</p>	<p>(質問事項) 町人口3万人を実現するための土地利用について (答弁者) 町 長</p> <p>岩手医科大学附属病院の移転を契機とした土地利用に対する需要が高まっていると感じている。そこで、人口3万人構想を実現するため、土地利用施策について以下伺う。</p> <p>① 人口増加に向けた宅地開発の開発行為等の状況について、町ではどのように捉えているか伺います。</p> <p>② 住居等の供給を促進するため、市街化区域内の個別の土地利用施策を進めていく必要があるが、本町の将来における見込みを伺う。</p> <p>③ 人口を増やすには市街化調整区域内の人口誘導も重要と考える。空き家対策としても、農地の要件を緩和することが必要不可欠であると思われるが、町の考え方を伺う。</p>
<p>質問 5</p>	<p>(質問事項) 医大周辺の交通対策について (答弁者) 町 長</p> <p>岩手医科大学附属病院移転に伴い、ビッグハウス周辺やその東側の地域の交通量が増大してきている。ビッグハウス東側の道路整備について、歩行者の安全対策及び道路の拡幅の考えを伺う。</p>